

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却について

設備造作、建物附属設備、什器備品、ソフトウェア、長期前払費用……定額法による減価償却を実施している。

(2) 引当金の計上基準について

退職給付引当金……期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は税込み方式を採用している。

2 特定資産の増減額およびその残高

特定資産の増減額およびその残高は次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給付引当資産	41,552,520	4,271,210	0	45,823,730
JARO50周年記念事業積立資産	4,000,000	4,000,000	0	8,000,000
合計	45,552,520	8,271,210	0	53,823,730

3 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
退職給付引当資産	45,823,730	(0)	(0)	(45,823,730)
JARO50周年記念事業積立資産	8,000,000	(0)	(8,000,000)	(0)
合計	53,823,730	(0)	(8,000,000)	(45,823,730)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
設備造作	5,184,490	2,593,197	2,591,293
建物附属設備	1,478,814	858,702	620,112
什器備品	3,348,104	3,207,418	140,686
ソフトウェア	8,835,420	5,286,685	3,548,735
長期前払費用	17,600,000	9,640,252	7,959,748
合計	36,446,828	21,586,254	14,860,574